

海外のオンラインプログラムを受講する際の注意点について

新型コロナウイルス感染症の影響により、海外渡航ができない状態が続いていますが、「学生時代の貴重な夏休みに海外のオンラインプログラムに参加してみよう！」と考えている方もいらっしゃると思います。海外のオンラインプログラムに参加する際にご注意いただきたい点についてまとめましたのでご参照ください。

～もくじ～

1. プログラム内容の確認
2. 研修期間・開講時間の確認
3. 授業形態について
4. 受講に必要な通信環境について
5. 申込み方法の確認は入念に
6. 海外のオンラインプログラム受講の際の心の準備



1. プログラム内容の確認

語学力向上を目的としたコースだけでなく、英語で専門分野について学ぶコースなど様々なオンラインプログラムが提供されています。研修内容が自分の学習したい内容にあっているか、まず確認してください。同じ英語力を向上させる研修で迷ったら、興味のある国で開講されているコースを選ぶのもよいかもしれません。一言に語学力向上といっても、文法や発音、会話に便利なフレーズを学ぶだけでなく、文化・社会的背景に関する知識を深めるために、その国の文化をトピックにした授業が提供される場合もあります。せっかく時間とお金をかけて研修に参加するわけですから自分の目標に最も適したプログラムを選んでください。

2. 研修期間・開講時間の確認

本学の授業期間・課題提出期間やご自身の他の予定と重複していないか確認してください。海外のオンラインプログラム受講にあたっては、時差も考慮してください。研修校のホームページに記載されている申込み期限や研修日程は、基本的に現地時間で書かれています。受講を決める前に、日本時間と照らし合わせて確認してください。また、授業期間中にサマータイムが開始される国や地域もあるので要注意です。

例：北米で実施される 8月2日（月）～20日（金）の研修に参加する場合
→日本の8月3日（火）～21日（土）に受講することになります。

【時差の例】

ビクトリア（カナダ）【ビクトリア大学】

日本時間からマイナス 16 時間（※サマータイム）

メルボルン（オーストラリア）【モナシュ大学】

日本時間にプラス 1 時間

3. 授業形態について

リアルタイムでオンライン授業に参加する時間数が多いコースもあれば、自習や課題を通して学びを深める時間が多いコースもあります。先生の指導のもと、できる限りクラスの中で学ぶスタイルがよいのか、自分の好きな時間に学習を進めるスタイルがよいのか、自分にあった学習スタイルのプログラムを選びましょう。

Synchronous hours :

オンライン上でリアルタイムに実施される授業時間。
Taught hours, ~hours of instructions と記載されている場合もあります。



Asynchronous hours :

事前に録画された講義や自主学習教材をもとに学習を進めたり、先生から指示された課題に各自のペースで取り組む時間。

~hours of guided independent study/work と記載されている場合もあります。

4. 受講に必要な通信環境について

● パソコン

研修校で推奨される OS やブラウザが利用できる状態であることを確認してください。利用予定のインターネットブラウザ (Microsoft Edge, Firefox, Google Chrome など) は、最新バージョンに更新しておくことをお勧めします。また、ブラウザの JavaScript や cookies を有効にする、ポップアップブロックを解除しておくなどの設定が必要な場合もあります。

海外のオンラインプログラムでは、パソコンが必要なことが多く、スマートフォンでの受講は難しい可能性があります。“System Requirements” や “Technical Requirements” といった項目に、研修受講に必要な通信環境の条件が示されていることが多いので、忘れずにチェックしてください。

● 授業に必要なアプリのインストール

多くの研修校が Zoom や Google Classroom, Blackboard Collaborate などを利用してプログラムを実施していますが、独自のポータルサイトや通信システムを利用して研修を行うところもあります。アプリのインストールが必要な場合は、授業開始前までにインストールし、動作確認を行ってください。通信環境に関する質問に対応するために、“IT Support Desk” や “Technical Support” といった相談窓口を設けているところもありますので活用しましょう。

● インターネット環境

安定した通信環境の確保はとても重要です。ビデオ通話や動画の視聴に必要な通信データ容量やスピードが確保できるかどうか事前に確認してください。

● マイク&カメラのチェック

パソコンに内蔵されているマイクやカメラでも受講は可能ですが、特に音声については、マイク付きイヤホン/ヘッドフォンを使用したほうが、周りの音を気にせず受講ができ会話もスムーズなので、利用することをお勧めします。カメラ&マイク内蔵のパソコンの場合も、システムチェックを事前に行ってください。なるべく実際に授業を受ける時と同じ場所・環境で試して、音の反響や雑音が入らないのかも確認するとよいでしょう。

<参考>

[Zoom 接続テストの手順](#)[Google Meet 接続テストの手順](#)● 授業を受ける場所の確保

海外のオンライン授業の中でも語学を学ぶものは特に、リアルタイムのクラスでは、カメラ&マイクをオンにして参加するのが一般的です。ビデオ通話アプリの中には、背景を変更することができる機能（バーチャル背景）もありますので、「自分の部屋が写ってしまうことに抵抗がある」と思う方は試してみてください。

明治大学のホームページには、バーチャル背景として利用できる大学の写真が掲載されています。背景を利用して「海外のクラスメイトに明治大学を紹介する!」といった活用も、話題作りに役立つと思いますので、機会があれば試してみてください。

<参考>

[Zoom バーチャル背景設定](#)[Google Meet バーチャル背景設定](#)[明治大学公式バーチャル背景](#)

同居の方がいらっしゃる場合には、自室のドアに「オンライン授業受講中」の張り紙を貼るかスケジュールを共有するなどして、授業に集中できる環境作りに協力してもらえよう依頼してください。

5. 申込み方法の確認は入念に

研修校によって申込み時に必要な情報は様々ですが、分からない点がある時は、うやむやにせず、申込みを完了する前に、研修校へ問い合わせてください。日本での常識が海外では通じないこともありますので、思い込みは禁物です。日本語以外で申込みを行うのはハードルが高いと不安に思う気持ちもあるかもしれませんが、「語学の勉強の一環」とポジティブに捉えてみましょう。

<参考：申込時に気をつけること>

● 参加に必要な語学力の証明について

プログラム参加にあたり、一定の該当の語学力があることを証明する語学能力試験スコアコピーの提出を求められる場合があります。語学力の要件の有無を事前に確認してください。初級から参加可能なプログラムでも、レベル別クラスに分けるために、プレースメントテストの受験が必要な場合があります。プレースメントテストの受験方法もあらかじめ確認してください。

● 身分証明書

研修校によっては、申込み時にパスポートコピーやパスポート番号を求められる場合があります。もしパスポートをお持ちでない場合は、他の身分証明書で提出可能なものがないか問い合わせしてみましょう。

例：失効したパスポート、運転免許証、明治大学の学生証など

● 画像やドキュメントファイルのアップロードをする際のファイル名

ファイル名をアルファベット表記することをお勧めします。日本語のファイル名で提出すると、アップロードした時にエラーになったり、受領された研修校の方が何のファイルなのか判別できない可能性があるため、受領する方のことを考えて準備してください。

例：証明写真のファイルのアップロードが必要な場合

ID_photo_Taro MEIJI.jpg



- 研修費用の支払い前にキャンセル規定を必ず確認！

研修費用の支払いを完了する前に、キャンセル規定を必ず確認してください。一旦支払いを完了すると、キャンセル料の発生前であっても、為替レートや手数料の関係から、最初に支払った金額が全額戻らない可能性があります。キャンセル規定は、”Cancellation Policy” や”Refund Policy” “Terms and Conditions”などの項目いずれかに記載されています。

- 研修費用の総額と支払い方法を確認する

授業料 (Tuition) に全ての費用が含まれているプログラムもありますが、Tuition の他に、Enrollment Fee や Registration Fee と呼ばれる登録料が必要なプログラムもあります。予算オーバーにならないためにも費用の総額を正確に把握してください。また、為替レートの変動も考慮して資金計画を立ててください。

研修費用の支払いは、多くのコースがクレジットカード払いを採用していると思います。利用できるクレジットカードは、Visa や Master カードの場合が多く、JCB や American Express などその他のカードは利用できないこともあるので、事前にどのカードであれば利用可能か確認してください。また、海外送金を受け付けている研修校もあります。オンライン上で決済が完了すれば支払い完了となるクレジットカードと異なり、海外送金の場合は、研修校指定の口座に費用が振り込まれるまでに数日を要する場合がありますので、余裕をもって手続きをしましょう。



費用支払いの証明として、クレジットカードの明細書や海外送金の控えなどはプログラムが終了するまで必ず保管してください。

6. 海外のオンラインプログラム受講の際の心の準備

- オンラインプログラムの強みをいかして予習・復習

授業の録画映像を後で視聴したり、オンライン教材を利用して予習・復習することができるのがオンラインプログラムの強みです。研修校から提供される教材や学習ツールを上手に使うことで学習効果を高めてください。分からない点や勉強を進めるうえで困ったことがあれば、インストラクターにメールやチャットなどで相談してください。

- 積極的に授業に参加する姿勢が大切です！

海外の研修では、授業での積極的な発言を重んずる傾向があります。恥ずかしがらずに勇気を出して発言することで、発話力の強化が図れますし、他の参加者の方との交流を深める機会にもなります。

- 交流イベントの活用のススメ

会話クラブ、ゲーム、映画・動画鑑賞、研修校や所在国・地域を紹介するバーチャルツアーなど授業以外のアクティビティを提供しているプログラムも多くあります。せっかくの機会ですので、イベントへの参加を通して、交流の輪を広げてください。

- Stay in touch!

Facebook や Instagram などの SNS アカウントやメールアドレスなど、仲良くなったクラスメイトやお世話になった先生方と連絡先を交換しておくことで、プログラム終了後も交流が図れます。

